



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 ケイヒン株式会社

コード番号 9312 URL <http://www.keihin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大津 育敬

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 荒井 正俊

TEL 03-3456-7825

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	20,490	0.7	608	△11.7	482	△4.2	244	△26.8
24年3月期第2四半期	20,348	1.7	688	65.5	503	123.4	334	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 113百万円 (△24.7%) 24年3月期第2四半期 150百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	3.75	—
24年3月期第2四半期	5.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	42,403	29.8	12,634	29.8		
24年3月期	43,134	29.5	12,717	29.5		

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 12,634百万円 24年3月期 12,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	0.4	1,200	1.7	850	2.0	600	△9.2	9.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】P.4「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	65,364,457 株	24年3月期	65,364,457 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	58,320 株	24年3月期	58,315 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	65,306,140 株	24年3月期2Q	65,307,667 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成されたものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P.4「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）のわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に一時持ち直しの動きが見られましたが、海外景気の減速や円高により全体的には厳しい状況で推移しました。

物流業界におきましては、輸入貨物は増加したものの、円高や生産の減少等に伴い輸出貨物の荷動きは減少し、内需に支えられてきた国内貨物の荷動きも鈍化しました。

このような環境の中、当社グループにおいては、輸出入貨物の取扱いは増加しましたが、国内貨物の取扱いは減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は204億9千万円（前年同期比1億4千1百万円の増収、0.7%増）となりましたが、営業利益は変動費の増加により6億8百万円（前年同期比8千万円の減益、11.7%減）、経常利益は4億8千2百万円（前年同期比2千1百万円の減益、4.2%減）となり、四半期純利益は特別損失として投資有価証券評価損を計上したことから、2億4千4百万円（前年同期比8千9百万円の減益、26.8%減）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別売上高

セグメント	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比増減（△印減）	
			金額(百万円)	比率(%)
国内物流事業	12,894	12,497	△396	△3.1
国際物流事業	7,921	8,462	540	6.8
セグメント間内部売上高	△466	△469	△2	—
合計	20,348	20,490	141	0.7

国内物流事業

国内物流事業におきましては、倉庫業は、新規の取扱いがありました。震災に伴う緊急貨物の需要がなくなったこと等から、売上高は27億4千4百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

また、流通加工業は、通信販売商品等の取扱いの減少により、売上高は26億4千8百万円（前年同期比2.3%減）となり、陸上運送業は、化学工業品や住宅関連資材等の取扱い減により一般貨物輸送の運送屯数が減少したほか、通信販売商品の配送取扱件数が減少し、売上高は68億6百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

以上の結果、国内物流事業の売上高は124億9千7百万円（前年同期比3億9千6百万円の減収、3.1%減）、営業利益は8億5千8百万円（前年同期比1億3千1百万円の減益、13.3%減）となりました。

国際物流事業

国際物流事業におきましては、国際運送取扱業は、輸出車両の海上輸送の取扱いが増加したほか、複合一貫輸送は輸入貨物の取扱いが増加、海運貨物は輸出入とも貨物取扱いが増加し、売上

高は68億5千7百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

また、港湾作業は、船内・沿岸荷役、港湾荷役ともに貨物取扱が増加し、売上高は11億2千万円（前年同期比11.5%増）となりました。

一方、航空運送取扱業は、欧州向けの輸出貨物の取扱が減少し、売上高は4億8千4百万円（前年同期比27.8%減）となりました。

以上の結果、国際物流事業の売上高は84億6千2百万円（前年同期比5億4千万円の増収、6.8%増）、営業利益は4億4千8百万円（前年同期比9千5百万円の増益、27.0%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び営業未収金が減少したほか、減価償却に伴う有形固定資産の減少や株式相場低下による時価下落により投資有価証券が減少したこと等により、前連結会計年度末比7億3千1百万円減の424億3百万円となりました。

負債合計は、営業未払金の減少や借入金の減少等により、前連結会計年度末比6億4千8百万円減の297億6千8百万円となりました。

また、純資産合計は、利益剰余金が増加しましたが、その他の包括利益累計額の減少により、前連結会計年度末比8千2百万円減の126億3千4百万円となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが13億3千8百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが5億5千2百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが7億9百万円の支出となり、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額（1千万円の増加）を加え、全体では8千6百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、14億9千9百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益3億8千5百万円、減価償却費による資金留保8億2千1百万円等により、13億3千8百万円の収入となりました。

前年同四半期（9億5千万円の収入）との比較では、3億8千7百万円の収入の増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出5億2千6百万円等により、5億5千2百万円の支出となりました。

前年同四半期（6億6千4百万円の支出）との比較では、1億1千1百万円の支出の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の純減等により、7億9百万円の支出となりました。

前年同四半期(4億5千7百万円の支出)との比較では、2億5千1百万円の支出の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績は、概ね期首予想(平成24年5月11日発表の予想数値)に沿って進捗しているため、通期の業績予想につきましては、期首予想を据え置いております。

なお、景気動向や事業環境の変動等により、連結業績予想に修正の必要が生じた場合には適時に開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,412	1,499
受取手形及び営業未収金	5,531	5,386
貯蔵品	8	9
繰延税金資産	51	36
その他	939	877
貸倒引当金	△78	△83
流動資産合計	7,865	7,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,488	42,827
減価償却累計額	△25,257	△25,857
建物及び構築物(純額)	17,231	16,970
機械装置及び運搬具	2,209	2,216
減価償却累計額	△1,788	△1,830
機械装置及び運搬具(純額)	421	385
工具、器具及び備品	3,205	3,258
減価償却累計額	△2,822	△2,892
工具、器具及び備品(純額)	383	366
土地	10,884	10,884
リース資産	418	524
減価償却累計額	△185	△226
リース資産(純額)	232	297
建設仮勘定	89	11
有形固定資産合計	29,241	28,915
無形固定資産		
借地権	977	977
その他	421	412
無形固定資産合計	1,398	1,389
投資その他の資産		
投資有価証券	3,804	3,462
繰延税金資産	167	224
その他	588	628
投資その他の資産合計	4,559	4,315
固定資産合計	35,200	34,620
繰延資産		
社債発行費	68	57
繰延資産合計	68	57
資産合計	43,134	42,403

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,677	3,566
短期借入金	6,329	6,640
1年内償還予定の社債	2,000	2,000
リース債務	76	91
未払法人税等	85	114
繰延税金負債	2	2
その他	1,450	1,327
流動負債合計	13,622	13,742
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	10,125	9,362
リース債務	174	226
長期未払金	100	79
繰延税金負債	11	9
退職給付引当金	2,070	2,036
役員退職慰労引当金	930	927
その他	382	383
固定負債合計	16,795	16,026
負債合計	30,417	29,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,376	5,376
資本剰余金	4,415	4,415
利益剰余金	3,316	3,365
自己株式	△11	△11
株主資本合計	13,097	13,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76	△79
為替換算調整勘定	△456	△431
その他の包括利益累計額合計	△380	△511
純資産合計	12,717	12,634
負債純資産合計	43,134	42,403

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	20,348	20,490
売上原価	18,837	18,990
売上総利益	1,511	1,500
一般管理費	823	891
営業利益	688	608
営業外収益		
受取利息及び配当金	49	80
その他	22	27
営業外収益合計	71	107
営業外費用		
支払利息	211	195
その他	44	38
営業外費用合計	256	233
経常利益	503	482
特別利益		
固定資産売却益	0	2
その他	—	0
特別利益合計	0	3
特別損失		
投資有価証券評価損	30	100
事故負担金	15	—
固定資産処分損	8	—
特別損失合計	54	100
税金等調整前四半期純利益	449	385
法人税、住民税及び事業税	50	98
法人税等調整額	65	43
法人税等合計	115	141
少数株主損益調整前四半期純利益	334	244
少数株主利益	—	—
四半期純利益	334	244

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	334	244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△191	△155
為替換算調整勘定	7	24
その他の包括利益合計	△183	△131
四半期包括利益	150	113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150	113
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	449	385
減価償却費	836	821
投資有価証券評価損益(△は益)	30	100
固定資産売却損益(△は益)	△0	△2
固定資産処分損益(△は益)	8	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	5
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△46	△34
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	23	△2
受取利息及び受取配当金	△49	△80
支払利息	211	195
売上債権の増減額(△は増加)	△366	144
仕入債務の増減額(△は減少)	175	△110
その他	△93	86
小計	1,182	1,507
利息及び配当金の受取額	47	77
利息の支払額	△207	△188
法人税等の支払額	△76	△64
法人税等の還付額	5	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	950	1,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	0	—
固定資産の取得による支出	△621	△526
固定資産の売却による収入	0	3
貸付けによる支出	△45	△45
貸付金の回収による収入	2	1
投融資による支出	△5	△3
投融資の回収による収入	5	7
その他	—	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△664	△552
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	827	710
リース債務の返済による支出	△33	△43
割賦債務の返済による支出	△22	△18
長期借入れによる収入	1,520	1,360
長期借入金の返済による支出	△2,682	△2,521
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△65	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー	△457	△709
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△162	86
現金及び現金同等物の期首残高	1,627	1,412
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,465	1,499

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,507	7,841	20,348	—	20,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	386	80	466	△466	—
計	12,894	7,921	20,815	△466	20,348
セグメント利益	989	352	1,342	△653	688

(注)1 セグメント利益の調整額△653百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△654百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注)2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,092	8,397	20,490	—	20,490
セグメント間の内部 売上高又は振替高	404	64	469	△469	—
計	12,497	8,462	20,959	△469	20,490
セグメント利益	858	448	1,306	△698	608

- (注) 1 セグメント利益の調整額△698百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△698百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。